

EUSI メールマガジン Vol. 102

「有害廃棄物の越境移動と EU 「貿易と環境」の一例として」(萱嶋富彦)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによる EU に関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 084】

「有害廃棄物の越境移動と EU: 「貿易と環境」の一例として」 萱嶋富彦 (環境省 廃棄物・リサイクル対策部企画課課長補佐)

有害廃棄物の越境移動を規制するバーゼル条約では、「廃棄物」のことを「処分がされ、処分が意図され又は国内法の規定により処分が義務付けられている物質又は物体」と定義している(以下この定義に従う。)

ここでいう「処分」には、焼却や埋立てといった狭義の処分のみならず、リサイクルも含まれる。近年では、廃棄物が排出された国とは別の国でリサイクルされる事例が増えており、その間で不可避免的に生ずる「越境移動」への関心が高まっている。

今回は、まずバーゼル条約の概要に触れた上で、この分野における EU(その前身である EEC 及び EC を含む。以下同じ。)の規制の変遷と現状を述べ、続けて廃棄物の越境移動に関する経済学的整理を紹介したのち、WTO 法との関係を論ずることとした。

なお、本稿は筆者個人の見解に基づいており、筆者が属する組織の見解を述べたものではないので、その点には留意されたい。

廃棄物の越境移動とバーゼル条約:

近年、「都市鉱山」という言葉が知られるようになった。これは、不要になった電気電子機器に内蔵された電子基板類から高品位の金、銀などが取り出せることから名付けられたものである。

消費者は電気電子機器を退蔵するのではなく廃棄することで、事業者は電気電子機器から貴金属などを取り出すことで、それぞれ効用を得ることができる。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol84.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. ジャン・モネ EU 研究センター(慶應義塾大学)「第 87 回慶應 EU 研究会」

日時: 2016 年 10 月 15 日(土) 10:30-12:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 4 階会議室

伊藤さゆり (ニッセイ基礎研究所)

「著書『EU 分裂と世界経済危機 イギリス離脱は何をもたらすかー』について」

主催: ジャン・モネ EU 研究センター(慶應義塾大学)
参加: 無料・事前登録不要 (どなたでも参加できます)
<http://www.jean-monnet-coe.keio.ac.jp/index.html>

2. アンドレア・オルトラニ先生より下記シンポジウムのご案内が届いています
「日伊国交 150 周年 日本及びイタリアにおける過去・現在のビジネス法」

日時: 2016 年 10 月 26 日(水) 10:30-17:00 (10:00 開場)
場所: イタリア文化会館 アニェッリホール (東京都千代田区九段南 2-1-30)

10:50-11:55 日伊修好通商条約
ベルテッリ・ジュリオ・アントニオ (大阪大学教授)
「未知なる世界と交渉して 1866 年の日伊修好通商条約とその歴史的意義」
太田昭子 (慶應義塾大学教授)
「岩倉使節団とイタリア」

11:55-13:00 日本・イタリアにおける商法の発展
鈴木千佳子 (慶應義塾大学教授)
「日本会社法の改正のあゆみ」
ジョルジ・マルコ (ローマ・トル・ヴェルガータ大学講師)
「イタリアの商法と会社法 独自性, 交雑, 移植の歴史」

14:30-16:00 M&A についての Q&A 日伊における非公開企業の買収に関して
末岡晶子 (弁護士、森・濱田松本法律事務所(東京))
「日本法律実務家の経験」
ピアンキ・ステファノ (弁護士、Pavia e Ansaldo 法律事務所(ミラノ))
「イタリア法律実務家の経験」

16:00-17:00 イタリア及びヨーロッパにおける M&A
大久保功 (GCA 株式会社マネージングディレクター)
「イタリア及びヨーロッパにおける M&A 日本の視点」

言語: 英語・日本語 (日英同時通訳付)

参加: 無料・事前申込要

件名を「10 月 26 日シンポジウム」とし、名前・電話番号・参加人数を明記の上、
メールにて eventi.iictokyo@esteri.it までお申し込み下さい

http://www.iictokyo.esteri.it/iic_tokyo/ja/gli_eventi/calendario/2016/10/150-years-of-friendship-and-commerce.html

【EU に関する新刊紹介】

庄司克宏『欧州の危機 Brexit ショック』(東洋経済新報社、2016 年 9 月 30 日刊行)
<http://store.toyokeizai.net/books/9784492444351/>

本書の著者である庄司克宏先生より、本書のご紹介を頂きました。

本書は、EU 法学者による欧州統合論の試みです。心がけたのは、経済学者や政治学者の知見を踏まえることと、法律用語を使わないことです。

第 2 次大戦後の欧州統合の営みは、独仏の流血の歴史を克服し、不戦共同体を構築する手段であり、そこでは EU 諸機関を通じてスプラナショナル(超国家的)なポリティクスが行われてきました。他方で、EU の主要な仕事である単一市場の構築、すなわち物・人・サービス・資本の自由移動の発展により、トランスナショナル(国境横断的)な欧州が形成されていきました。

しかし、EU は 1999 年に単一通貨ユーロを導入した後、やがて変調をきたすようになりました。欧州憲法条約の批准失敗で統合が停滞し、欧州債務危機ではユーロの崩壊すなわち統合の後退が噂されるまでになり、また、難民危機への対応をめぐって EU 内部の政治的対立が激しさを増しました。このようにして欧州懐疑派の政党が各国で台頭しました。

さらに、イギリスでは今年 6 月の国民投票で Brexit が決まり、EU の歴史上はじめて加盟国が離脱することになったわけです。主権国家間の統合(integration)という現象は、disintegration という側面を含めて考えなければならぬことが事実として判明したわけです。

本書は、EU がそのような極めて困難な状況に直面している中で、欧州統合にどのような展望があるのかを、「2 速度式欧州」と「アラカルト欧州」をキーワードとして説明しています。

EU は、経済統合が基礎にあるため、民意とマーケットの双方を満足させながら、その 2 つの方式の「連立方程式」から「最適解」を見出さなければならない、というのが筆者の見解です。そのための試金石になるのが・・・

...

(続きはこちら↓)

<http://eusi.jp/outreach/outreach-report/shoji-2016/>

庄司克宏 (慶應義塾大学法務研究科教授、ジャン・モネ・チェア)

【EU に関するニュース】

- 2016 年 9 月 14 日 欧州委員会、著作権改正案発表。ニュース記事抜粋配信リンク税やコンテンツ ID 等含む
- 2016 年 9 月 16 日 英除く EU27 加盟国非公式首脳会談、難民やテロ対策等今後半年間の優先課題行程表採択
- 2016 年 9 月 16 日 英独立党(UKIP)、新党首にダイアン・ジェームス欧州議員を選出、同党初の女性党首
- 2016 年 9 月 16 日 経団連など日欧財界 4 団体、日・EU EPA 年内大筋合意や規制協力など謳う共同書簡発表
- 2016 年 9 月 16-20 日 英自民党大会。ファロン党首、英 EU 離脱交渉後に離脱条件に関する国民投票主張
- 2016 年 9 月 17 日 独主要 7 都市で環大西洋貿易投資連携協定(TTIP)抗議デモ。警察発表で 16 万人以上参加
- 2016 年 9 月 18 日 モゲリーニ上級代表、国連総会会期中に王毅中国外交部長と難民危機やシリア情勢協議
- 2016 年 9 月 18 日 ベルリン市議会選、右派政党 AfD が 25 議席と躍進。与党 CDU31 議席、SPD38 議席で大減
- 2016 年 9 月 19 日 トゥスク常任議長、難民と移民に関する国連サミットで、EU の難民流入管理強化等演説
- 2016 年 9 月 19 日 EU、エジプトの女性の人権推進や水資源管理改善のため 5000 万ユーロの支援計画採択
- 2016 年 9 月 19 日 EU 理事会、英出身ヒル欧州委員の後任のキング氏を安全保障同盟担当欧州委員に任命
- 2016 年 9 月 19-21 日 カタイネン副委員長来日、世耕経産相らと日・EU EPA 交渉や対 EU 戦略投資など協議
- 2016 年 9 月 20 日 トゥスク常任議長、オバマ米大統領主催難民サミットで、EU の難民人道支援取組を演説
- 2016 年 9 月 20 日 モゲリーニ上級代表ら、アレppo西郊での人道支援物資車列への空爆を非難する声明
- 2016 年 9 月 20 日 EU 総務理事会、EU 予算枠組中期評価やボスニア・ヘルツェゴビナ EU 加盟申請審査等協議
- 2016 年 9 月 20 日 EU 総務理事会、世界の人権・民主主義に関する 2015 年度報告書の各国・地域別報告採択

- 2016 年 9 月 20 日 日英首脳会談、国連総会会期中に開催。メイ首相就任後初。企業環境や EPA 交渉等協議
- 2016 年 9 月 20 日 英下院財務委員会、金融行為監督機構(FCA)報告公表。金融機関 5478 社が英 EU 離脱影響
- 2016 年 9 月 20-21 日 EU・インドネシア FTA 交渉第 1 回会合、ブリュッセルで開催。広範な分野で協議開始
- 2016 年 9 月 21 日 トゥスク常任議長、国連総会で難民危機や対テロ戦略・気候変動への EU の取組など演説
- 2016 年 9 月 21 日 モグリーニ上級代表、国際平和デーに寄せて平和促進者としての EU の役割を謳う声明
- 2016 年 9 月 21 日 財務省貿易統計、8 月対 EU 貿易(速報値)は輸出 5908 億円・輸入 6733 億円で 825 億円の赤字
- 2016 年 9 月 21 日 OECD、中間経済見通し発表。来年英成長率を 6 月国民投票前予測の半分の 1%と下方修正
- 2016 年 9 月 22 日 欧州委員会、キューバと政治対話・協力協定を締結するよう EU 理事会に提案
- 2016 年 9 月 22 日 モグリーニ上級代表、イラン核合意履行に関する E3+3 外相会合で、合意履行成果強調
- 2016 年 9 月 22 日 ECB 定例経済報告、中国含む新興国の経済減速や英 EU 離脱による不透明性の高まり指摘
- 2016 年 9 月 22 日 Eurostat、4-6 月の EU28 カ国庇護申請者は 30 万 5715 人で前期比+6%。うち 6 割が独へ申請
- 2016 年 9 月 22 日 WTO 紛争処理小委員会、EU のエアバス社への補助金は WTO 違反との米の主張を大筋認める
- 2016 年 9 月 22 日 EU・韓国ビジネスフォーラム、ソウルで開催。EU・韓国 FTA 発効 5 年の貿易と今後を展望
- 2016 年 9 月 22-23 日 EU28 加盟国経産相非公式会合、対米(TTIP)・対加(CETA)FTA や中国市場経済地位協議
- 2016 年 9 月 23 日 モグリーニ上級代表、コロンビア大学で EU 新グローバル戦略に関する演説
- 2016 年 9 月 24-25 日 ブルツ欧州委員(運輸担当)来日、G7 軽井沢交通大臣会合出席、EU の運輸政策等発表
- 2016 年 9 月 24 日 独壇ら中東欧 11 カ国首脳会議、ウィーンで開催。域外国境管理や難民送還強化など協議
- 2016 年 9 月 26 日 モグリーニ上級代表、コロンビア政府とコロンビア革命軍(FARC)の和平協定締結に祝意
- 2016 年 9 月 26-27 日 EU28 加盟国国防相非公式会合、EU 新グローバル戦略や EU・NATO 共同宣言の運用協議
- 2016 年 9 月 26-30 日 日・EU EPA 交渉第 17 回会合、ブリュッセルで開催。貿易・投資ルール条文等で進展
- 2016 年 9 月 26-30 日 EU・中国投資協定交渉第 12 回会合、ブリュッセルで開催
- 2016 年 9 月 27 日 EU 理事会、コロンビア革命軍(FARC)に対する EU 制裁措置の停止を決定
- 2016 年 9 月 27 日 EU 報道官、マレーシアでの死刑執行を受け、同国に死刑執行停止措置導入求める声明
- 2016 年 9 月 27-30 日 EU 及び中国、「EU のイノベーション政策と計画」公開講演会を北京と四川省で開催
- 2016 年 9 月 28 日 モグリーニ上級代表、シモン・ペレス元イスラエル首相の死去を受け、哀悼の声明
- 2016 年 9 月 28 日 モグリーニ上級代表、マレーシア航空 MH17 便撃墜合同捜査中間報告を評価、支援の声明
- 2016 年 9 月 28 日 駐韓 EU 代表部、「EU 気候外交週間」の一環で交通運輸の CO2 排出削減に関する対話開催
- 2016 年 9 月 29 日 EU 競争担当相理事会、シェアリングエコノミーや欧州鉄鋼産業の競争力強化など協議
- 2016 年 9 月 29 日 イスティチョアエア＝ブドウラ駐日 EU 大使、岸外務副大臣と EPA 交渉や英 EU 離脱等協議
- 2016 年 9 月 30 日 EU 環境理事会、COP21 パリ協定の批准手続の加速やマラケシュ気候変動会議準備等協議
- 2016 年 9 月 30 日 Eurostat、8 月失業率(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国 10.1%、EU28 国 8.6%で共に前月同

【編集後記】

日本経済の現状をどう見るかという点については、意見が分かれているように思われます。アベノミクスの 3 本の矢もだいぶ息切れがしてきました。特に 3 本目の矢である成長戦略については、従来から厳しい評価が与えられています。成長戦略を支える構造改革や規制緩和という言葉の曖昧さもさることながら、やはりそれを具体的に実感することができないということでしょうか。これに対して、シンガポールでは、自動運転、先端医療、金融サービスなど先進国では厳しい規制のもとにおかれている分野でも自由な実験が可能であり、

実証実験の場として世界中から高い技術が集まっています。英国の EU 離脱を嫌い、英国の IT 金融企業の多くがシンガポールへの進出を検討しているとも言われています。もちろん、この流れは英国に限ったことではなく、欧米全体に広がりつつあるようです。

こうした最先端の技術研究や先進ビジネスの動向を反映して、シンガポールの大学の評価が高まっています。色々な世界大学ランキングがありますが、いずれのランキングにおいても、シンガポール国立大学(NUS)や南洋理工大学(NTU)の評価は日本の大学のそれを上回っています。自由な研究環境を整備し、優秀な人材を集めることが、今ほど求められている時はないように思われます。

(藤川哲史・EUSI メールマガジン編集担当)

ドイツ国内最高の映画賞である「ドイツ映画賞」で、今年最多 6 部門を受賞したのは、SS 将校アドルフ・アイヒマンを追跡し拘束に至るまでの過程を描いた「アイヒマンを追え！」(原題「Der Staat gegen Fritz Bauer」)でした。

主人公の検事長フリッツ・バウアーは、身内の検事局内では元ナチス黨員らに見張られ、また国家の公式ルートを使えば国家反逆罪になる危険を孕むという制約の中で、南米に潜伏しているアイヒマンを執念で追い詰めてゆきます。この作品をはじめとする日本未公開のドイツ映画 8 作品が、今週末 10 月 15 日より六本木で開催される「ドイツ映画祭」にて上映されます。会期中には各作品の監督や制作関係者らによる舞台挨拶も開催されるなど、観客とより一体となって楽しむことのできる関連イベントも行われます。

また、より古い秀作の映画が好みの方にとってのイベントとしては、本日より「シネマの冒険 闇と音楽 2016 スウェーデン映画協会コレクション」が開催されます。これは、1910 年代から 20 年代に作られた、当時の無声映画の名作をスウェーデン映画協会が復元したもので、上映会によってはピアノ伴奏付きで楽しむことができます。会場は、毎年春に「EU フィルムデー」も開催される国立近代美術館フィルムセンターです。

そのようなヨーロッパ映画に関するイベントの一方で、昨日この編集後記でも紹介したことのある(EUSI メールマガジン Vol.48)、ポーランド映画の巨匠アンジェイ・ワイダ監督の訃報が飛び込んできました。「灰とダイヤモンド」「ワレサ 連帯の男」など数々の名作を生み出した巨匠の魂を悼みつつ、これからは日本国内でヨーロッパ映画の名作に触れる機会がより増えてゆくことを願っています。

ドイツ映画祭 2016「HORIZONTE」

期間: 2016 年 10 月 15 日(土)-10 月 19 日(水)

会場: TOHO シネマズ 六本木ヒルズ

https://www.goethe.de/ins/jp/ja/ver.cfm?fuseaction=events.detail&event_id=20837733

「シネマの冒険 闇と音楽 2016 スウェーデン映画協会コレクション」

期間: 2016 年 10 月 11 日(火)-10 月 16 日(日)

会場: 国立近代美術館フィルムセンター大ホール

<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/sfi-2016-10/>

(林 大輔・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
